
幻想百合

高波ショウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想百合

【Nコード】

N4904G

【作者名】

高波シヨウ

【あらすじ】

吸血鬼に襲われてから狂いだした俺の日常・それは次第に周りまでも巻き込んで悪化していく

ブローグ

冬にアイスコーヒー、意外といけると思う。俺はそう思う。

必要以上に厚着したりマフラー巻いたりして暑いときには自動販売機でアイスコーヒーを買って体を冷ます。友達からは厚着を止めればいいじゃない、と笑われるがこればかりは癖なのでしょうがない。

冬より夏が好き、寒いより熱いが好き、でも暑すぎるのはちょっと嫌い、それが俺のポリシー。

さて、もう辺りも暗くなり人気もなくなった公園のベンチに座ってアイスコーヒーと冷たい風で涼んでいる俺は色々と波乱万丈な今日を思い出す。

学校が終わってからすぐに帰ろうとしたら知り合い達に捕まりゲームセンターへ誘拐される。

そこでとにかく遊ばされ食べさせられ楽しませられ。楽しかったので別にいいやと思えないほどに財布が軽くなってしまった。

自動販売機で熱くなった体を冷ますついでに奮発してアイスコーヒーを買って……後は先ほど言ったとおり涼んでいる。

「さて、どうしようか」

家に帰ろうにも電車やバスが来るのはまだ後のこと、タクシに乗れるほど資金はあまってない、歩いてくらないなら電車を待った方が早い……。

よし、のんびりこのまま待っておう。 うんそれがいい。

後ろから肩をとんとんと叩かれる、応答をしながら振り返ると。

そこにゾンビがいた。

「ひっ!？」

悲鳴を上げると同時にゾンビに抱擁される。 恋人同士がやるような優しいものではなくて相手を逃がさない固め技に近い。そして、肩口を思い切り噛まれた。

激痛、混乱、捕食、流血。

何かが吸われると同時に何かがそこから流れてくる、生暖かく気持ち悪い。

「ざけんなっ!」

ゾンビの腹へ思いつきり拳を捻じり込む。 俺を押さえ込んでいた腕が弱くなり、押しのけてそのままコーヒー缶を頭に叩きつける。

距離が開いたことでよろけているその体の全体像がつかめる。
ゾンビみたいに生気の無い顔にふさわしくないほど意志がこもった目、サラリーマンな服装、痩せており身長は高い。

こいつは何だ？ 不審者？ 少年捕食嗜好な不審者か？ ありえない。 世界広しと言えどもそんな変人はいないはず。

いや、こいつが何か考えるよりも早く逃げろ。 正体不明の奴に捕まってから考えるより逃げ切ってから考えた方がよっぽど有意義だ。

とにかく、どこでもいいから逃げろ！

……そうして逃げ続けた結果、そこは袋とじで行き止まり。

「クソ」

小さく悪態をつく、あいつの姿は見えない、がすぐにここを見つめるだろう。

走ってきた道には点々と先ほど噛まれた傷口から流れた血がある。傷を押さえて走ってきたとはいえ力が入らない、足がケラケラ笑っている。

それに頭痛がひどい。 溶けるどころかそのまま作り替えられそうな気分だ。

どうすればいい、考えろ。

このままだとどうなる？ 追いつかれる。 追いつかれたらどうなるか？ 考えたくもない。

何か策は？ 追いつかれる前に逃げることは可能か？ おそらく無理だ。 武器や罠など持ってなく後ろは一本道、逃げる場所も隠れる場所もない。

持ち物は？ ポケットを探る。 ゲームセンターで別れる際知り合いから貰った飴を発見。 なにも思いつかない…… 食べるか。

何度か舌の上で飴を転がす、頭が融けそうな今では甘くも苦くもない味としかとらえられない。

この飴は頭が痛くなった時に効果的だとかどうだとか。 そんな事を知り合いは言っていた気がする。

奥歯でかみ砕き破片を一口で飲みこむ。

実際に効果はあるかどうかは知らないが気休めでいい。 薬なんてそんなもんだ。

だが、やはり気休めにすぎない。 状況は変わらないしむしろ悪化する。

体がおかしい、さっきゾンビに噛まれてから体がおかしい。

骨が暴れ、肉が轟き、細胞が沸騰し、脳が異常警報を最大音量で鳴らしている。

ここままだと何をするまでもなく死ぬ。 ただ異常に埋もれて死ぬ。

そんなの嫌だ、どうすればいい？ 壊れたくない死にたくない終わりたくない！ 考えろどうすればいい考えて見つからないなら動き始めろ！ このまま終わりたいくないならどうかして道を見つけ出せ！

「うゝゝアアアア！」

動かない、動かない、動かない。

もどかしい、何もできず何も行動できないのがもどかしい。

この状況を変える何かはないのか、探し出せ！ 終わりたいくないならただひたすらに考えろ！

周りはすべて高い壁にかこまれている、後ろからは俺を追いかけてくるゾンビ。

何か打開策はないのか！

——タタカエ。

思考がはじける。

俺より巨大なあれと戦う。

どう考えても無謀な考え、無意味な行動、自殺行為。

火を見るより明らかなそれを考えただけで……全てを俺は受け入れた。

そつだ、初めからそうすればよかった。

考えられないなら逃げられないなら追いつかれるなら——迎え撃てばいい。

体を紫電が駆け巡る、破壊しろ。自分へ脅威を振りまく存在は全て破壊しろ。

体が脳の質問に答える。武器は何がある？ 爪、牙、拳、ならそれだけで十分。

迎え撃て、どうせこのままなら死ぬのだろう。なら少しでも生き残る可能性があるほうへと賭ける。

地を蹴り、壁を走り、天を舞う。

床を蹴り、木より高く、車より早く駆け巡れ！

目指すは一点。

俺を狙うゾンビのみ。

怒涛の跳躍から静寂の着地。

驚愕の敵へと覚悟の拳を。

捻じり込んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4904g/>

幻想百合

2010年11月19日08時49分発行